

# 【資料編】

■ 推進指標一覽……………	77～80
---------------	-------

# 推進指標一覧

区分	指標	現状値	目標値(R9)	指標の説明
施策の柱1 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進	1 SDGs・ESDの推進(施策P32)			
	SDGsに関する体験活動を実施している小・中学校の割合	小50.1%,中46.4% (R4)	100%	SDGsの視点に立った学習活動を展開し、地域や関係機関等と連携を図った体験活動を実施している小・中学校の割合 (出典:教育活動等に関する調査)
	SDGs・ESDに関する問題解決的な学習活動に取り組んでいる高校の割合	79.0% (R4)	100%	SDGs・ESDに関する問題解決的な学習活動に取り組んでいると回答した高校の割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)
	学校経営方針に位置付け、SDGs・ESDに関する問題解決的な学習活動に取り組む特別支援学校の割合	9.0% (R3)	100%	特別支援学校において、在籍する児童生徒等の障がいの状態等に応じた問題解決的な学習に取り組んでいると答えた学校数 (出典:特別支援教育総合推進事業成果報告)
	2 幼児教育の充実(施策P34)			
	域内の幼児教育施設の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合	87.2% (R3)	100%	域内の幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合 (出典:教育活動等に関する調査)
	外部人材の意見を取り入れて、保育者の資質・能力の向上に取り組んでいる幼児教育施設の割合	41.4% (R3)	80.0%	大学教授や幼児教育施設長等、幼児教育等の専門性を有する外部人材の意見を取り入れて、保育者の資質・能力の向上に向けた園運営の改善等に取り組んでいる幼児教育施設の割合 (出典:幼児教育実態調査)
	域内の幼児教育施設と小学校等が、幼小連携・接続の方向性を協議する機会等を設定している市町村の割合	48.3% (R3)	100%	域内の幼児教育施設と小学校等が、幼小連携・接続の方向性を協議し共有する会議体など、カリキュラム上の連携のための機会等を設定している市町村の割合 (出典:幼児教育実態調査)
	「北海道子ども読書応援団」に登録している読書ボランティアが実施する読み聞かせの回数	877回 (R3)	1,350回	「北海道子ども読書応援団」に登録している読書ボランティアが実施する乳幼児の親子を対象とした読み聞かせ会等の回数 (出典:「北海道子ども読書応援団」活動調査)
	家庭教育サポート企業が教育委員会等と連携して家庭教育支援を行う市町村の割合	6.7% (R4)	53.4%	家庭教育サポート企業が、教育委員会や関係団体等と連携して、子育て環境づくりなど、家庭教育支援の取組を実施する市町村の割合 (出典:北海道の市町村における生涯学習推進体制の整備状況調査)
3 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(小・中学校)(施策P36)				
どの程度、PDCAサイクルを確立しているかとの質問に対し、「よくしている」と回答した学校の割合	小46.2%,中49.0% (R4)	94.0%	出典の調査で「よくしている」と回答した学校の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
話し合う活動を通じ、自分の考えを深めることなどができていると回答した小学6年生、中学3年生の割合	小80.3%,中78.0% (R4)	100%	出典の調査で「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学6年生、中学3年生の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
小・中学校の国語、算数・数学の平均正答率が全国以上の教科数	1教科 (R4)	4教科	小・中学校の国語、算数・数学の平均正答率の整数値での比較において、全国以上の教科数 (出典:全国学力・学習状況調査)	
授業以外に、1日当たり1時間以上勉強すると回答した小学6年生、中学3年生の割合	小56.6%,中63.6% (R4)	74.0%	「学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対し、「1時間以上」と回答した小学6年生、中学3年生の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
家や図書館で、普段、1日10分以上読書をするという回答した小学6年生、中学3年生の割合	小57.1%,中48.4% (R4)	73.0%	「学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問に対し、「10分以上」と回答した小学6年生、中学3年生の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	調整中	調整中	公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき学級数に応じた蔵書の標準冊数を達成している学校の割合(札幌市を除く) (出典:学校図書館の現状に関する調査)	
近隣の小(中)学校と教育課程に関する共通の取組をよく行ったと回答した学校の割合	小21.7%,中30.2% (R4)	61.0%	「前年度までに、近隣の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」という質問に対し「よく行った」と回答した学校の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
中学校と高校との円滑な接続の観点を踏まえた教育課程を編成している高校の割合	37.8% (R4)	70.0%	中学校と高校との円滑な接続の観点を踏まえた教育課程を編成していると回答した高校の割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)	
4 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(高校)(施策P38)				
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善により指導と評価の一体化が図られている学校の割合	66.5% (R4)	100%	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいると回答した学校のうち、指導と評価の一体化が図られたと回答した割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)	
総合的な探究の時間において、対外的な成果発表の機会を設定している学校の割合	56.9% (R4)	100%	総合的な探究の時間において、生徒の成果発表の機会として、対外的な機会があると回答した学校の割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)	
ICTを活用して自分に合った学習ができる高校1年生の割合	75.9% (R4)	100%	ICTを活用して自分に合った学習ができていると回答した高校1年生の割合 (出典:北海道高等学校学習状況等調査)	
一斉読書や書評合戦(ピリオパトル)等の読書推進活動に取り組む学校の割合	調整中	調整中	一斉読書や書評合戦(ピリオパトル)等の読書習慣確立に向けた生徒の主体的な取組の推進を行っている高校の割合 (出典:学校図書館の現状に関する調査)	
学校司書を配置していると回答した学校の割合	調整中	50.0%	学校司書を配置していると回答した高校の割合 (出典:学校図書館の現状に関する調査)	
5 特別支援教育の推進(施策P40)				
通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の「個別的教育支援計画」を作成している割合	調整中	100%	校内委員会において特別な教育的支援が必要と判断した幼児児童生徒のうち、個別的教育支援計画を作成している幼児児童生徒の人数 (出典:特別支援教育に関する調査)	
特別支援教育に関わる校内研修を毎年度実施している学校の割合	調整中	100%	道内の公立幼・小・中・高の学校のうち、校内研修において特別支援教育に関する研修を行った学校数(札幌市を除く) (出典:特別支援教育に関する調査)	
特別支援学校高等部第3学年において、就職や進学を希望する生徒の割合	35.2% (R3)	46.0%	特別支援学校高等部第3学年生徒のうち、特別支援学校高等部第3学年生徒のうち、卒業後に就職・進学を希望する生徒数 (出典:卒業生進路内定・決定状況調査)	

区分	指標	現状値	目標値(R9)	指標の説明
施策の柱1 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進	5 特別支援教育の推進(施策P40)			
	これまでに医療的ケアに関する基本研修を受講した特別支援学校教員の割合	調整中	調整中	道立特別支援学校教員のうち、基本研修受講済みの教員数(退職者を除く) (出典:学校における医療的ケアに関する調査)
	読書活動に関して地域と連携した取組を行っている特別支援学校の割合	調整中	調整中	道立特別支援学校のうち、公立図書館や様々な人材と連携した取組を行っている学校の割合 (出典:学校図書館現状に関する調査)
	6 STEAM教育の推進(施策P42)			
	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったと回答した学校の割合	小37.5%,中31.6% (R4)	63.0%	小学6年生、中学3年生に対する指導に対し、前年度までに、どの程度「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
	実社会での問題発見や解決につなげる教科等横断的な取組をしている高校の割合	70.2% (R4)	100%	実社会での問題発見や解決につなげる教科等横断的な取組をしていると回答した高校の割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)
	地域や大学、行政機関、民間企業等と連携・協働した探究的な学習を取り入れている高校の割合	75.4% (R4)	100%	地域や大学、行政機関、民間企業等と連携・協働した探究的な学習を取り入れていると回答した高校の割合 (出典:管内高等学校等の状況調査)
	7 キャリア教育の充実(施策P44)			
	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小79.6%,中67.4% (R4)	小89.0%,中79.0%	出典の調査で「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
	卒業までにインターンシップなどのキャリア教育に資する体験的な学習活動を経験した高校生の割合	44.6% (R3)	87.5%	出典の調査において、基礎的・汎用的能力を高める体験的な学習活動を経験した生徒の割合 (出典:インターンシップ実施状況等調査)
	高校卒業の時点において、進路希望を設定できていない生徒数	30人 (R3)	20人	進学も就職もしたくないなど、卒業後の進路希望を設定できなかった生徒の人数 (出典:生徒の実態等に関する調査)
	8 体力・運動能力の向上(施策P46)			
	体力合計点の全国平均値を50.0とした場合の北海道の小学校5年生、中学校2年生の値	調整中	50.0	体力合計点の全国平均値を50.0とした場合の北海道の小学校5年生及び中学校2年生の値 (出典:全国体力・運動能力、運動習慣等調査)
	体育授業以外で週に総運動時間が60分以上と回答した小学校5年生、中学校2年生の割合	調整中	100%	体育授業以外で1週間に運動・スポーツの総運動時間が60分以上と回答した小学校5年生、中学校2年生の割合 (出典:全国体力・運動能力、運動習慣等調査)
	体力や運動能力の向上に係る具体的な数値目標を立てていると回答した小学校、中学校の割合	調整中	100%	体力や運動能力の向上に係る具体的な数値目標を立てていると回答した小学校、中学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)
	体育授業で授業中にICTを活用していると回答した小学校、中学校の割合	調整中	100%	体育授業で授業中にICTを活用していると回答した小学校、中学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)
	9 健康教育・食育の充実(施策P48)			
	「朝食を毎日食べている」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合	小81.5%,中77.4% (R4)	100%	「朝食を食べていますか」という質問に対して、「毎日食べている」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
健康教育に係る研修会に参加した学校の割合	20.6% (R3)	毎年度 33.3%以上	養護教諭や栄養教諭が健康教育に係る研修会に参加した学校の割合 (出典:道教委調べ)	
学校保健委員会に学校外の委員が出席した学校の割合	45.0% (R3)	100%	学校保健委員会に保護者の代表など、学校外の委員が出席した学校の割合 (出典:学校保健委員会の設置状況等調査)	
学校給食における地場産物の使用率	48.2% (R3)	50.0%	学校給食において、地場産物(道産食材)を使用した割合 (出典:学校給食における地場産物の使用状況等調査)	
栄養教諭による食に関する指導の平均取組回数	小1.6回,中1.2回 (R3)	12回	栄養教諭による食に関する指導に取り組んだ平均回数 (出典:体育・保健・安全に関する調査)	
10 道徳教育の充実(施策P50)				
自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合	小76.8%,中77.6% (R4)	小87.0%,中84.0%	出典の調査で「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
道徳の授業で、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる児童生徒の割合	小82.3%,中88.8% (R4)	小90.0%,中94.0%	道徳の授業で、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいるかの質問に、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
道徳科の保護者や地域への授業公開を全学年で行っている学校の割合	小70.8%,中77.2% (R4)	小91.0%,中95.0%	道徳科の保護者や地域への授業公開を「全学年で実施した」と回答した割合 (出典:教育活動等に関する調査)	
研究授業等の実践を通じた道徳科の授業改善に関する校内研修を行っている学校の割合	小74.6%,中80.6% (R4)	小98.0%,中94.0%	研究授業等の実践を通じた道徳科の授業改善に関する校内研修を「実施した」と回答した割合 (出典:教育活動等に関する調査)	
11 ふるさと教育の充実(施策P52)				
地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒の割合	小49.5%,中39.7% (R4)	小65.0%,中55.0%	出典の調査で「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	
アイヌの人たちの歴史・文化等の学習において、施設や人材・動画教材等を活用している学校の割合	小76.9%,中75.3% (R4)	100%	アイヌの人たちの歴史・文化等の学習において、施設や人材・動画教材等を活用した体験を通じた学習を実施したと回答した割合 (出典:教育活動等に関する調査)	

区分	指標	現状値	目標値(R9)	指標の説明
施策の柱1	11 ふるさと教育の充実(施策P52)			
	北方領土に関する学習において、施設や人材・動画教材等を活用している学校の割合	小84.8%,中85.9% (R4)	100%	北方領土に関する学習において、施設や人材・動画教材等を活用した体験を通じた学習を実施したと回答した割合 (出典:教育活動等に関する調査)
	12 グローバル人材の育成(施策P54)			
	道内の公立高校等における留学者の割合	0.01% (R3)	1.00%	道内の公立高校等が回答した長期(3か月以上)及び短期(3か月未満)の留学・研修旅行実施生徒の割合 (出典:高等学校等における国際交流等の状況について)
	中学校卒業段階で英検3級以上の英語力を有する生徒の割合	調整中	60.0%	中学校卒業段階で英検3級以上を取得又は英検3級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合 (出典:英語教育実施状況調査)
	高校卒業段階で英検準2級以上を取得又は英検準2級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合	調整中	60.0%	出典の調査で把握した、高校卒業段階で英検準2級以上を取得又は英検準2級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合 (出典:英語教育実施状況調査)
「CAN-DOリスト」の学習到達目標の達成状況を把握している中学校・高校の割合	調整中	100%	「CAN-DOリスト」の学習到達目標の達成状況を把握していると回答した中学校・高校の割合 (出典:英語教育実施状況調査)	
英語の発信力に係るスピーキングテスト及びライティングテストの両方を実施している高校の学科の割合	調整中	調整中	学科によって科目の履修や単位数など英語に係る教育課程が異なることから、実施状況をきめ細かく把握するよう学科毎に調査し、パフォーマンス評価を実施していると回答のあった学科の割合 (出典:英語教育実施状況調査)	
施策の柱2	13 ICTの活用推進(施策P56)			
	児童生徒一人一人に配備されたICT機器を活用した授業が行われた学校の割合	小69.9%,中63.7% (R4)	100%	出典の調査でICT機器を活用した授業が「ほぼ毎日」行われたと回答した小学校(第6学年)及び中学校(第3学年)の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
	授業にICTを活用して指導することができる教員の割合	91.1% (R3)	100%	上位10県の平均を100%とし、ICTを活用した指導が「できる」及び「ややできる」と回答した教員の割合 (出典:学校における教育の情報化の実態等に関する調査)
情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合	96.1% (R3)	100%	上位10県の平均を100%とし、情報活用の基盤となる知識や態度について指導「できる」及び「ややできる」と回答した教員の割合 (出典:学校における教育の情報化の実態等に関する調査)	
学びの機会を保障し質を高める環境の確立	14 いじめ防止の取組の充実(施策P58)			
	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	小86.9%,中84.0% (R4)	100%	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
	「いじめの認知件数」のうち、「解消しているもの」の割合	小95.9%,中96.5% 高96.1% (R3)	100%	「いじめの認知件数」のうち、「解消している」と回答した児童生徒の割合 (出典:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)
	いじめ防止に向け、スクールカウンセラーや弁護士等の専門家を交えて研修等を複数回行っている学校の割合	小12.7%,中18.3% 高12.9% (R4)	75.0%	いじめ防止に向け、スクールカウンセラーや弁護士等の専門家を交えて研修等を複数回「実施した」と回答した学校の割合 (出典:いじめの問題の実態把握及びその対応状況等調査)
	望ましい人間関係の構築に向けたソーシャルスキルトレーニング等を複数回実施している学校の割合	小23.6%,中24.4% 高28.6% (R4)	100%	望ましい人間関係の構築に向けたソーシャルスキルトレーニング等を複数回「実施した」と回答した学校の割合 (出典:いじめの問題の実態把握及びその対応状況等調査)
	関係機関と連携したネットの不適切な利用の未然防止等に関する防犯教室を実施している学校の割合	調整中	調整中	関係機関と連携したネットの不適切な利用の未然防止等に関する防犯教室を実施しているかの質問に「あり」と回答した学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)
15 不登校児童生徒への支援の充実(施策P60)	児童・生徒会活動を通じて、人間関係や仲間づくりを促進した活動を実施している学校の割合			
	小89.8%,中91.5% 高97.7% (R3)	100%	児童・生徒会活動を通じて、人間関係や仲間づくりを促進した活動を「実施している」と回答した学校の割合 (出典:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)	
	調整中	調整中	家庭やSCやSSW等関係機関と連携し「支援している」と回答した学校の割合 (出典:児童生徒の欠席に対する対応状況等に関する調査)	
	学校及び教育支援センターやフリースクール等において相談・指導や支援を受けた児童生徒の割合	小79.6%,中77.7% 高93.8% (R3)	100%	不登校の状況により支援が必要と判断された児童生徒のうち、学校及び教育支援センターやフリースクール等において「支援を受けた」と回答した児童生徒の割合 (出典:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)
不登校の子どもに対し、オンラインによる学習指導や教育相談を実施している学校の割合	調整中	調整中	全ての不登校児童生徒への学習指導等として「ICT機器を活用し、在籍校の授業を自宅に配信して行う学習や教育相談」を選択した学校の割合 (出典:児童生徒の欠席に対する対応状況等に関する調査)	
16 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進(施策P62)	教員採用選考検査の受検倍率			
	2.2倍 (R4)	3.0倍	教員採用選考検査の登録者数に対する受検者数の倍率 (出典:道教委調べ)	
	個々の教員が校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している学校の割合	小84.8%,中83.3% (R4)	100%	個々の教員が校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加を「よくしている」と回答した学校の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)
教員が道教委の研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映している学校の割合	小95.0%,中95.1% (R3)	100%	道教委の主催する研修の還元状況として、研修に参加し、研修成果を自校の教育活動に反映させた(させる)学校の割合 (出典:教育活動等に関する調査)	
17 働き方改革の推進(施策P64)	時間外在校等時間が1か月45時間以内となる教育職員の割合			
	74.4% (R3)	100%	北海道教育委員会規則に定める1か月あたりの時間外在校等時間の範囲内となる教育職員の割合 (出典:道教委調べ)	
時間外在校等時間が1年間360時間以内となる教育職員の割合(道立学校)	54.0% (R3)	100%	北海道教育委員会規則に定める1年あたりの時間外在校等時間の範囲内となる教育職員の割合 (出典:道教委調べ)	

区分	指標	現状値	目標値(R9)	指標の説明
施策の柱2	17 働き方改革の推進(施策P64)			
	市町村立学校の時間外在校等時間を公表している市町村の割合	43.8% (R4)	100%	市町村立学校の時間外在校等時間を「公表している」と回答した市町村の割合 (出典:北海道アクション・プラン取組状況調査)
	18 学びのセーフティネットの構築(施策P66)			
	新入学児童生徒学用品費等の入学前支給制度を導入する市町村の割合	97.8% (R4)	100%	新入学時に必要な学用品等に要する費用を入学前に支給する制度を導入している市町村の割合 (出典:就学援助実施状況等調査)
	道内公立高校の中途退学者のうち、「学校生活・学業不応」を理由とするものの割合	30.1% (R3)	14.0%	出典の調査で中途退学の理由を「学校生活・学業不振」と回答した生徒の割合 (出典:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)
	ヤングケアラーに関する教員研修を受講した学校の割合	24.2% (R4)	100%	研修を受講し、実績報告を提出した学校の割合 (出典:道教委調べ)
施策の柱3	19 地域と学校の連携・協働の推進(施策P68)			
	学校運営協議会を設置している学校(コミュニティ・スクール)の割合	74.0% (R4)	93.0%	幼稚園、こども園を除く公立学校における学校運営協議会を設置している学校(コミュニティ・スクール)の割合 (出典:コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査)
	地域学校協働活動推進員等が学校運営協議会に参画している学校の割合	30.6% (R4)	56.0%	幼稚園、こども園を除く公立学校における地域学校協働活動推進員等(地域コーディネーターも含む)が学校運営協議会に参画している学校の割合 (出典:コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査)
	地域学校協働活動推進員等を対象とした研修の参加者数	73名 (R4)	年間160名以上	地域学校協働活動推進員等(地域コーディネーターも含む)を対象とした道教委が主催する研修への年間参加者数 (出典:道教委調べ)
	遠隔授業で実施した教科・科目について学びに対する興味・関心を高めることができたと感じた生徒の割合	調整中	調整中	遠隔授業で実施した教科・科目について学びに対する興味・関心を高めることができたかの質問に「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合 (出典:COREハイスクール・ネットワーク構想に係るアンケート調査)
	20 生涯学習・社会教育の振興(施策P70)			
	生涯学習の成果を活用している住民の割合	57.3% (R3)	80.0%	「生涯学習」を行った人のうち、「身につけた知識、技術や経験をまちづくりやボランティア、子どもたちを育むための活動などに生かしている」と回答した割合 (出典:生涯学習に関する住民の意識調査)
	社会教育主事を配置している市町村の割合	68.7% (R4)	100%	社会教育法第9条の2で配置とされている社会教育主事の道内全市町村における配置状況 (出典:社会教育主事の配置及び社会教育主事講習に関する調査)
	障がい者の学習機会に関する実態把握をしている市町村の割合	26.8% (R4)	63.4%	域内において住民が参加できる障がい者の生涯学習活動に関する情報を収集及び把握している市町村の割合 (出典:北海道の市町村における生涯学習推進体制の整備状況調査)
	道立青少年体験活動支援施設の利用者数	17.9万人 (R1)	毎年度 18.9万人以上	各施設を宿泊や日帰りで利用した延利用者数の総計 (出典:青少年教育施設利用状況調査)
家庭教育サポート企業が教育委員会等と連携して家庭教育支援を行う市町村の割合	6.7% (R4)	53.4%	家庭教育サポート企業が、教育委員会や関係団体等と連携して、子育て環境づくりなど、家庭教育支援の取組を実施する市町村の割合 (出典:北海道の市町村における生涯学習推進体制の整備状況調査)	
公立図書館の来館者数	556.6万人 (R3)	900.0万人	図書の閲覧や貸出だけでなく、イベントへの参加や地域の学びの場としての活用のため公立図書館を訪れた全ての来館者数 (出典:道教委調べ)	
21 安心・安全な教育環境の構築(施策P72)				
防犯教室及び防犯訓練の両方を実施している学校の割合	調整中	100%	防犯教室及び防犯訓練の「両方を実施した」と回答した学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)	
児童生徒自らが積極的に学ぶ交通安全教育を行っている学校の割合	調整中	調整中	児童生徒が主体的に安全対策について話しあう機会を設定するなど自らが積極的に学ぶ交通安全教育を「実施した」及び「今後、実施する」と回答した学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)	
地震に加え、地域の実態を踏まえた自然災害に応じた、避難(防災)訓練を実施している学校の割合	調整中	100%	「津波」「風水害」「噴火」「その他」の地域の実態を踏まえた自然災害に応じた、避難(防災)訓練を実施した学校の割合 (出典:体育・保健・安全に関する調査)	
地域と連携した「1日防災学校」を実施している市町村の割合(札幌市を除く)	84.3% (R4)	100%	地域と連携した「1日防災学校」の「実施報告書」の提出があった学校の割合 (出典:1日防災学校に係る実施報告書)	
公立小・中学校の耐震化率	98.7% (R4)	100%	公立小・中学校における建物(非木造)の耐震化率 (出典:公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査)	
22 芸術文化活動の推進(施策P74)				
学校教育活動として美術館・博物館を活用した学校数	147校 (R3)	217校	学校教育活動としての美術館・博物館を活用した学校数 (出典:道教委調べ)	
美術館・博物館のホームページの閲覧者数	212.6万件 (R3)	274.3万件	美術館・博物館から報告のあったホームページの閲覧者数 (出典:道教委調べ)	
指定文化財所在市町村で北海道文化財保護強調月間に「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	83.1% (R4)	96.4%	北海道文化財保護強調月間に「文化財を活用した事業」を「実施している」と回答した割合 (出典:北海道文化財保護強調月間における文化財展示公開・活用事業調べ)	
「北海道・北東北の縄文遺跡群」など地域の文化財を活用した教育活動を実施した学校の割合	79.7% (R4)	100%	地域の文化財を活用した教育活動を「実施した」と回答した学校数 (出典:教育活動等に関する調査)	